

シロイチモジヨトウ情報第1号（野菜類、花き類）

令和8年6月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

複数地域でフェロモントラップ誘殺数が多い！
ほ場をよく観察し、発生を確認したら防除しましょう！

1 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウ成虫の誘殺状況

複数地域でフェロモントラップにおける直近1ヶ月の総誘殺数が多い状況です（図）。

- ・西尾市（水稻、ムギほ場周辺）では243頭（平年76頭、前年130頭）と過去7年間と比較して最も多い。
- ・長久手市（農総試内）では158頭（平年24頭、前年48頭）と過去10年間と比較して最も多い。
- ・田原市（キャベツほ場）では302頭（平年123頭、前年98頭）と過去6年間と比較して最も多い。※6月調査開始のため、6月第1～2半旬の総誘殺数

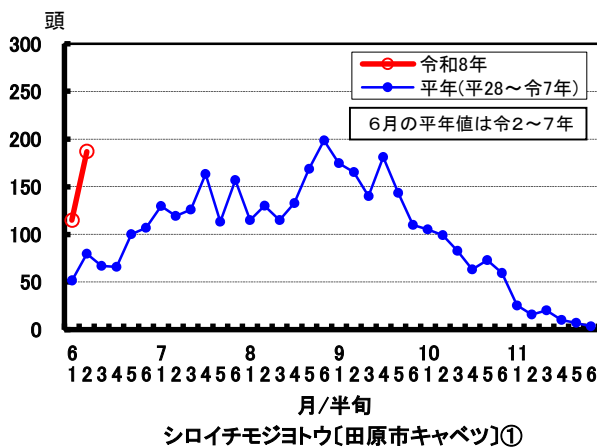
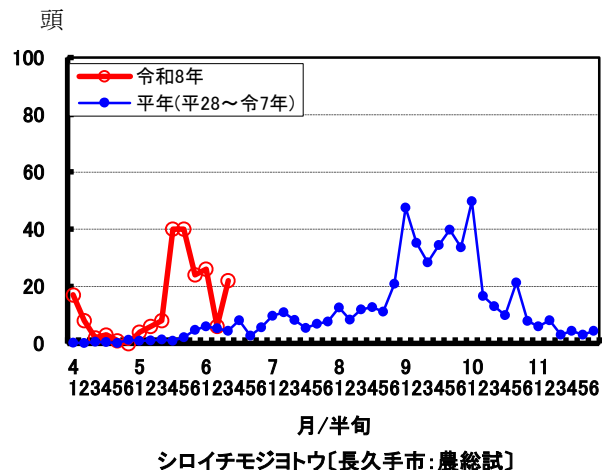
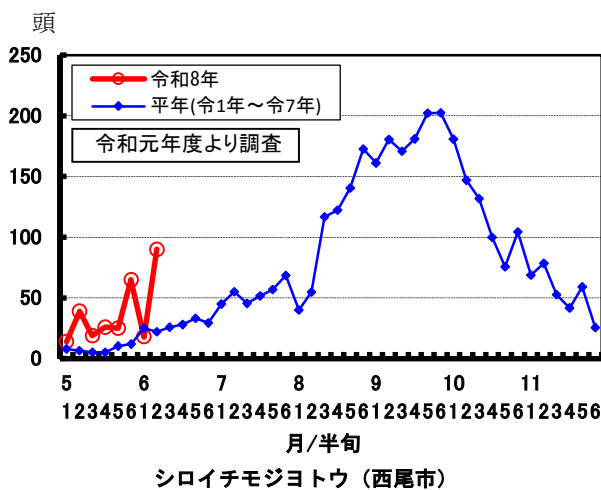


図 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウ成虫の誘殺数

2 今後の見込みと防除対策

名古屋地方気象台6月11日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いとされており、今後、発生量がさらに増加する可能性があります。ほ場を観察し、幼虫を確認したら防除しましょう。

(参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>))

なお、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同じIRACコードの薬剤は連用しないようにしましょう。